

令和5年第6回

沼田町教育委員会定例会会議録

※非公開に係る議案を除く

令和5年第6回沼田町教育委員会定例会会議録

1. 期 日 令和5年11月29日（水）午後4時00分～午後5時36分

2. 会 場 沼田町生涯学習総合センター 1階会議室

3. 出席委員

教 育 長	三 浦	剛
教育長代理	青 木	健 治
委 員	沼 本	綾

4. 出席職員

課 長	赤 井	圭 二
主 幹	斉 藤	真 二
主 査	川 嶋	智
アドバイザー	元 木	和 芳

5. 議 事

議案第35号	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について
議案第36号	令和5年度（令和4年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について
議案第37号	令和6年度奨学生の募集について
議案第38号	令和5年度教育行政報告について
議案第39号	令和5年度沼田町一般会計教育費補正予算（案）について

6. 付議案件は次のとおり

前会々議録の承認
その他

【開会】

○教育長

ただ今より、令和5年第6回沼田町教育委員会定例会を開会いたします。

議題の2番目、前会会議録の承認についてを議題といたします。課長より説明をお願いいたします。

○赤井課長

前会会議録について、その概要を説明いたします。

令和5年10月18日に召集されました第5回教育委員会定例会は、4人の委員に出席いただき、職員は3人が出席いたしました。

教育長の報告としましては、第3回議会定例会での教育長に対する一般質問で、町民体育館の整備の立地場所と準備委員会の発足について、の質問があったことについて報告させていただいています。2点目については、中学2年生の職場体験学習、小学校の学習発表会など、学校行事の様子を報告させていただいています。さらに3つ目として、明日萌の里、ほたるの里ウォーキングや生きがい講座の開催、いきいき大学など、社会教育事業の実施状況について報告させていただいております。

次に議案については1件のご審議頂いており、議案第34号、沼田町教育委員会教育長職務代理者の指名について、青木委員に再任いただくことで承認いただいております。

以上、前会会議録の報告とさせていただきます。ご承認下さいます様よろしく願いいたします。

○教育長

前会会議録の説明が終了しました。ご質問ございますか。

(なしの声あり)

○教育長

ご質問がないようですのでお諮りいたします。前会会議録は、承認することよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○教育長

異議なしということで、前会会議録は承認することに決しました。

議案3番目、教育長の報告について申し上げます。

報道などで既にご承知かと思いますが、深川保健所管内インフルエンザの感染が拡大しており、沼田小・中学校においても罹患者が増加しています。小学校では2年生が11月27日から30日まで学年閉鎖とさせていただいており、本日現在では、小学校で9名、中学校で2名の児童生徒がインフルエンザに罹患している状況にあります。その他にも小学校では17名、中学校で10名が風邪症状等を訴えて、欠席している状況であり、これから更に増加することも予想されます。

学校では、引き続き学校での感染対策の徹底を図るとともに、感染の拡大防止のための学年閉鎖などを含め、適切な対応を進めてまいります。

その他の報告事項につきましては、後ほどの審議いただきます教育行政報告でのご提案をもってご報告とさせていただきます。

以上で教育長の報告を終わります。ただ今の報告の中で、質問等ございますか。

(なしの声あり)

○教育長

なければ、4番の議事に入ります。

議案第35号、令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載についてを議題といたします。提案の説明をお願いいたします。

○赤井課長

議案第35号、令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について。令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について提出する。令和5年11月29日提出、教育長名でございます。

提案の理由といたしまして、これは毎年度提案させていただいています。全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領では、都道府県教育委員会は市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名又は当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされている。道教委では一層きめ細かくわかりやすい調査結果を示す観点から、市町村教育委員会の同意を前提として公表を予定しており、本町としてもこの公表に同意するものであります。なお、運動習慣の調査については総合教育会議の時に一部、教育委員の皆様にお知らせしているところではありますが、今後北海道の方から結果報告書として、ホームページ等で周知される予定ですので、これに対する同意でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○教育長

説明が終わりました。ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

(なしの声あり)

○教育長

ないようでありますので、お諮りをいたします。議案第35号、令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載については同意することよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○教育長

異議なしと認め、議案第35号は同意することに決定いたしました。

次に議案第36号、令和5年度（令和4年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書についてを議題といたします。説明をお願いいたします。

○赤井課長

議案第36号、令和5年度（令和4年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について。令和5年度（令和4年度対象）沼田町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書を提出する。令和5年11月29日提出、教育長名でございます。

本日、当日配布させていただきまして、誠に申し訳ございませんでした。別冊の点検評価報告書をご覧いただきたいと思っております。

項目が多く、全部終わった後にご審議、ご質問いただくことが非常に難しいと思っておりますので、私の方で評価関係は途中で区切りながらご意見等いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。特に主なものを中心に簡略に説明させていただきます。

早速頁、5頁目から説明したいと思っております。5頁目お開きください。令和4年度の教育行政の実施評価書でございます。まず最初は学校教育、学務に関するものから説明させていただきます。1番目として、一貫連携教育推進事業でございます。これについては評価Aということで評価させていただいております。内容としては簡単に申し上げますと、自ら学んで考え学びあう児童生徒の育成ということで、これはICT教育の効果的な活用を通して2年次研究として設定して今現在やっております。沼田スタイルとして実践するために公開研究も先月そして今月と実施してございますし、また昨年も実施いたしております。なお、昨年も秋田県の東成瀬村、横手市の方に関係者を派遣して、教育実践、沼田学園の

教育に活かすこととしております。2番目のアドバイザーについては継続して、アドバイザー1名を配置しております。続きまして6頁目の補助教諭については、残念ながら現在応募がございませんので、今のところ人材確保が難しいというところでB評価とさせていただきます。4番目の小中学校学力向上対策事業です。こちらは小中学校の基礎基本的な学力の向上を目指しまして、特に昨年から漢字検定、小学校中学校受験いただいています。また、英語検定、そして算数数学検定、この検定について町、学校の方からも受験を推奨いたしまして子供たちにチャレンジいただいているところでございます。また、検定料を助成することで、子ども達が意欲的にチャレンジして学力向上に繋がるよう、各検定の受験率を上げていくように助成いたしております。評価についてはAでございます。5番目の公設塾みらいについては令和4年11月から開講いたしております。現在は小学校5年生から中学校3年生を対象として実施しております。非常に基礎学力の向上、また中学校3年になりますと入試対策といったように、学力も特化しながら、教育委員会の担当教諭によって実施いたしております。評価についてはAとさせていただきます。6番目の学習サポート明日萌についても継続事業でAという評価させていただきます。まずここまでで、区切らせていただきます。特に学校一貫教育、学力向上等について説明させていただきました。

○教育長

ここまでで何かご質問、ご意見等ございますか。

○沼本委員

4番目の漢字検定とかの助成なんですけど、これは全額助成ですか。

○教育長

1回だけ全額助成です。

○沼本委員

その後は自費で受験する。これいいことだと思うんですけども、学校の先生方とかはどのような反応なんですか。これは町としていいと思ってやっている事業なのか、学校としてもこれはいいことですねって感じなのか、どのような感じですか。

○元木アドバイザー

受験率を数字で書いていませんけれども、100%ではないというところをどう捉えるかということだと思います。小学校の漢字検定で93%、ほとんどの子が受けている。逆に言うとちょっと欠席した子以外は受けている。という読みを他の算数数学検定、英語

検定についても、休んでいる以外で学校体制を整えて子供たちの意識も含めて、課題があるのではないかという読み取りにももちろんなるんだと思います。その点の課題が一つだけではありませんので、最後に書いてあるように受験率を上げていくためにはどうしたらいいかというところを、現場、学校と協議しながら目的は子ども達の学力向上ですから、意欲、意識に向けてやっていかないといけないねという抑えです。

○赤井課長

申し遅れましたが、一昨日に、11月27日に学識経験者等による意見聴取を行っております。1枚もので見ていただきたいんですけども、この点検評価について意見いただいております。今申し上げました検定については、6番目の徴収した意見、下から2番目ですね、各種検定については検定に向けた講習を実施することで、苦手な検定科目でも受験にチャレンジできるような環境づくりができないかと、それによって学力の底上げになるのではないかと、つまり漢字検定は非常に受験率が高い方なんですけれども、低い数学とかですね、英語も含めて子供たちが苦手意識を持っている、もしくは中学校まで行くとレベルも高くなるので、自分から受けるというよりも先生が受けてみないかと、先生も受けてみないかと、この子だったら検定クリアできるんじゃないかという子に声をかけているんじゃないかと、いった意見も頂きました。ですので、全員がチャレンジできれば本当は言い訳でございまして、その辺の底上げ、講習なんかも実施してはどうかと、検定に向けた各種講習もあつたらいいなという、意見は頂いています。

○沼本委員

こっちがいいと思っですることと、学校の先生が思っでいることで一致して、一つになつてやつた方が有効的だろつと思つから、独りよがりじゃない事業だつたらいいなと持つたので聞いてみました。

○赤井課長

貴重なご意見ありがとうございます。それではまた何かございましたら後ほど伺いたいと思います。

8頁目から説明させていただきます。7番の小矢部市沼田町青少年交流事業、令和4年度については受入の年でした。全対象家庭で受け入れ頂きまして、実施いただいております。今年、5年度は派遣ということで蟹谷中学校へ行つています。評価はAということで、ただ見直しとしては引き続きあんどん祭りの時期で受入調整ということにしていますが、実際問題、課題としてやはり子供たちあるいは家庭が、中々受け入れた中学生を家庭で交流を取る時間が少ない、一緒にいる時間が作れない、自分たちもあんどんに参加していますので、なのでどうなのかという話もあつたんですけども、小矢部市の方からは引き続

きあんどん祭りに受け入れていただきたいという話を頂いていますので、今後更に交流が深まるよう検討が必要という風に考えます。8番のスクールカウンセラーはAという評価です。小学校には年12回、中学校は年22回配置を行ってケア対策に力を入れています。続きまして9頁ですけれども、10番目小学校の体力向上対策事業です。体力向上についてはスポーツクラブ、Nリンクさんをお願いをして、主にコーディネーショントレーニング、運動ができる土台づくりのための、主に神経系、運動系を刺激する動きを取り入れながら、実施いただいております。これについてはA評価ということにさせて頂いています。続きまして10頁目、12番の小中特別支援学級支援及び小学校学習支援員の配置です。これは学習支援員をですね、町の方で雇用いたしまして、支援員として現場で配置させていただいております。特に特別支援はもちろんですけれども、普通学級においてもですね支援を必要とする児童生徒に対してしっかりとサポートをして、子ども達の多様化する対応、これに対応しているものです。評価はAということにさせて頂いています。13番は通学路点検でA、14番の校務支援システムについてはちょっと活用の検討が必要なことからBという評価にしています。次の頁も行かせていただきます。12頁ですが、15番の外国語指導助手、ALTデイビット先生についてはもちろん評判がいいということでA評価をつけさせていただいております。16番の農業体験については今年もJA北いぶき農業青年の力をお借りしまして、農業体験、田植え、稲刈り、脱穀、もみすり体験など5年生を中心として行っています。評価についてはAです。17番の教職員住宅管理です。これも現在7棟11戸の住宅がございますが、現在10名が入居しております、近隣のまちから比較しますと先生方沢山住んでいただいております。タイミングを見ながら住宅の内装を改修したり水回りを修理したり、そういった改修を繰り返しまして、今後も先生方に住んでいただけるように計画しております。評価はAです。キャリア教育は中学校2年生を中心に職場体験でAを付けさせていただいております。14頁目の19番まで説明させていただきます。学務関係最後になりますが、ポートハーディ交流事業でございます。令和4年度は事業中止いたしましたので、評価はなしということにさせていただいております。ただオンライン交流会もやっておりますし、また今年度は久々に派遣できたということで、今後の見込みとしてはさらに派遣、受入をずっと継続して続けられるように取り進めたいという風に考えております。以上この19番までが学務関係に関する学習事業あるいは管理事業でございます。ご意見宜しく願いいたします。

○教育長

7番から19番までで、ご質問ご意見等ございましたら。

○赤井課長

意見書も参考にさせていただきながら、意見書の裏面ですね、裏面では子供たちの体力

向上のことについても意見をいただいています。

○沼本委員

デイビット先生の給料というのは毎年上がっているんですか。

○川嶋主査

基本的には委託事業ですので、直接給料を支払っているわけではなく、業者さんを通じてお支払いしているものになります。3年度から4年度に事業費が上がっている部分については社会保険料の増額分になりますので、給料は大きく変わってはいないのかなと思います。

○教育長

むこうでの賃金がどう入っているのかというのは、うちの方では分かりません。この金額がダイレクトに入っているわけではないと思います。できるだけ本人の所得に繋がるように委託料の中でも加味しながら契約している状況にあると思います。また住宅は教職員住宅に入ってもらっているの、公営住宅の時よりも安い家賃で入ってもらっている、そういう配慮もさせて頂きながら勤務してもらっています。

他はよろしいですか。また、何かありましたら最後にもう一度伺わせていただければと思います。それでは続きよろしいですか。

○赤井課長

それでは14頁の続きから、20番シン再会の塔から説明いたします。こちらから社会教育事業が主になっていきます。

20番シン再会の塔事業ですが、これは沼田町の子供達が中学校を卒業すると、再会の塔というのを10年後、つまり25歳の時にやっているんですが、これを10年後だけではなくて、20年、30年、40年後、つまり35歳、45歳、55歳の時に同窓会をやっていただいて、沼田で交流を深めて頂こうということで、10名以上の場合は5万円、20名上の場合は10万円の商品券を差し上げて、補助しております。昨年4年度は30年組、45歳の同窓会が1件ございました。ですのでちょっと評価は辛口でBとさせて頂いております。21番の子ども文化劇場は銀河鉄道の夜を学校の希望によって実施いたしております。これは隔年実施です。それから次の頁をめくっていただいて、16頁家庭教育支援事業23番でございます。これはPTA連合会の研究大会と一緒に親学講座など共同開催していたところですが、令和4年度については夜間開催だったことから、別日程で単独開催となってしまいました。今後も共催でやっていきたいとは考えていますけれども、すでに今年についても日程調整した上で、別日開催となっております。評価は

Bとしています。24番の町民交流フェスタ、これは11月13日今年もやりましたけれども、4年度についてもAということで評価させていただきまして、やはり社会教育委員を含む実行委員会がですね早期に打ち合わせをしながら、様々な体験コーナーを設けて、当日の開催も運営していただいています。町民が主体的に自らを磨き上げるような、そんな町民交流フェスタにしております。多くの参加をいただいています。Aという評価です。25番の生きがい講座も昨年は自然学校と連携してソロキャンプ事業、グランピング事業をやりました、キャンプブームということもありまして、また新しくサークルとして伝筆サークルというのができまして、非常に主婦層を中心に参加いただいて評価はAということで付けさせていただきました。20歳を祝う会ですが、26番です。法が改正になって、成人年齢が18歳になりましたが、沼田町としては昨年度実施コロナでできなかったことにより、年度が明けた5月4日に開催させていただきました。今後もこれまで同様に20歳を祝う会として継続して実施してまいりたいと思います。評価についてはAです。それから18頁目にまいります。サークル活性化は先ほど言いましたように伝筆サークルなど、色んな文化促進をして事業を行っておりますが、残念ながら秋桜会ですとか七宝焼き同好会、またその前々年度に解散した大正琴サークルこういったサークルもですね、休止、解散などもしていることもあって、評価は辛口のBとさせていただきます。いきいき大学についても高齢者の生きがいということで、生涯学習を学ぶために、全5回開催しています。ただ、人数が最近急激に少なくなっていることから、もう少し増やしたいと考えていますが、評価はBです。外国文化これはデイビット先生に参加いただいてAという評価をさせていただきます。シニアリーダー研修会については、これは中高生、北空知1市5町の共同事業でございます。北空知の中高生が一堂に会してリーダー研修を12月と3月に、沼田町から9名が参加して実施してございます。評価はAです。

ここでページ数が長いので1度区切りたいと思います。20番から30番までです。

○教育長

20番から30番までの間で気になる点ございましたら。

○青木代理

いきいき大学の主流の年代層は何歳ぐらいですかね。

○赤井課長

80代ですね。若くても75歳くらいですね。

○青木代理

旅行とかは好評みたいですが、評価Bを付けられているので、やってもらいた

いアンケートを取りながらより良い方法でやってくればなと思います。

○教育長

それでは次に31番から説明をお願いします。

○赤井課長

20頁の31番でございます。引き続き社会教育になります。31番の自然体験キャンプについてですが、これはBということで辛口評価になっております。4年度についてはですね、夏に自然体験キャンプをやろうと思ったんですけども、感染症が拡大しまして急遽中止、その代わり2日間の冬期デイキャンプは実施しております。冬のデイキャンプを2日間実施いたしております。延べ人数は16名参加。32番の沼田っ子の夢応援事業、これは合宿通学のことでございます。親元から離れて宿泊交流センターから小学校に毎日通学していただきました。評価はAということで、小学校5年生に限定しております。非常に満足度が高い事業という風感じております。子供たちの自己肯定感、これを高めるための取組になったのではないかなと考えています。33番の芸術文化鑑賞事業ですが、昨年は3月に映画鑑賞会、トップガンマーベリックを開催したかと思えます。年を越してから、最初落語会の中止なんかもあったんですけども、色々調整も難しかったんですけども、辛口のB評価としております。34番の文化財の保存管理です。町の指定文化財もさしますけれども、ふるさと資料館にあった、郷土資料、文化財を現在ハイテクインター、菱農さんの前にある元開発、ハイテクインターさんの建物ですけども、文化財収蔵センターとしてここに郷土資料等を移設しております。移設についてはほぼ完了しております。今後この文化財を適切に管理をするために、文化財守り隊あるいはパトロールを行いまして、どういう展示がいいのか、またどういう見学の仕方がいいのかも含めてですね、意見を聞きまして今後も引き続き整備していきたいと考えております。評価についてはBということにしております。35番、36番は町指定文化財の管理でございます。Bの評価になっております。37番の町民芸術祭についてですけども、これは令和4年度にしっかりと芸能発表ができるようにコロナ対策をしながら実施できたという風に考えております。今年も実施いたしました。沢山の方が芸術発表会、芸能発表会を見たんだなという風な印象を受けさせていただいています。社会的にも非常に沼田町にとっては大きな事業だなという風に感じたところでAという評価をさせて頂いています。次の頁にまいりまして、24頁沼田っ子サポーター事業については、普段から帽子を会員さんにお渡しをして、小学校の通学路なんかをウォーキングしてもらったり、ラジオ体操の後に歩いてもらったりして、子どもたちに声かけをしていただいております。中々人数も増えていないところもありますが、評価についてはBということになっております。40番の社会教育施設です。これはゆめつくと各地区の活性化センターの管理でございます。

施設内が経年劣化しているところも多少見受けられますが、適切に管理をして、また、災害時の避難所にもなっているのです、しっかりと機能を確保していきたいと考えています。評価についてはBです。以上40番までまず区切らせて頂きます。31番から40番です。

○教育長

この間でご質問ご意見等ございましたらお願いします。

○赤井課長

自然体験キャンプと子ども向け社会教育事業については意見書にも意見を頂いております。

○教育長

よろしいですか、もし何か気になることありましたら最後に確認いたしますので、その時にご意見いただければと思います。それでは続きをお願いいたします。

○赤井課長

それでは25頁、41番から参ります。こちらから社会体育と施設管理が中心となってきます。41番の町民体育祭です、これはA評価にさせて頂いています。中々組の人数の参加者が維持するのが難しくなっておりますけれども、スポーツ推進委員さんとそれから行政の体育委員さんが議論を重ねて、何とかどの組でも優勝が狙えるような得点配分にしたり、選手選考の負担軽減をしたりして、継続して実施いたしております。評価についてはAということで、また、50回記念大会もありますので今後より多くの町民に参加してもらえよう、検討してまいりたいと考えています。おはようラジオ体操42番は140日間、延べ5,521名、1日平均40名の方がラジオ体操に来てもらっています。これはずっと継続していてAという評価をさせて頂いています。26頁の、43番明日萌・ほたるの里ウォーキングですが、Aという評価をさせて頂いておりますが、近年コース付近、本来は幌新温泉の紅葉祭りにあわせてですね、幌新のコースをまたぎながら行っていたと思っておりますけれども、近年は熊の目撃情報が頻繁にございます。10キロ、6キロ、3キロの町内の周遊コースに、3つのコースに分けております。しかし、参加者は若干減ってはおりますけれども、継続して実施するという事でこれはAという評価です。それから44番と45番についてはパークゴルフについてです。パークゴルフ場の管理はもちろんしっかりとやっているところですが、やはり利用者が減ってきている、高齢化も含めてですね、それから課題の所を書いてありますが、ナイター営業についてはほぼ無いということで、利用者が激減しております。今後実施方法を検討していかなきゃい

けないなと思います。それを補うためにやはりパークゴルフ大会、45番を年3回、NHK杯、町長杯、教育長杯という風にやっております、減少傾向でありますけれども継続して幅広くPRしていきます。評価についてはBです。46番の体育協会の活動助成です、これは体育協会に対する補助金交付をして活動を支援しているものです。Aという評価ですが、現在加盟団体数は11団体、11団体ですが活動を休止している団体もありますので、何とか活性化できるように、また部活動の地域移行等がありますので、今後各団体の活動の後押し、また中身をしっかりと把握できるような調査をしていきたいと考えています。ここで1回区切ります。

○教育長

41番町民体育祭から46番体育協会活動助成まででご意見等ございましたら。よろしいでしょうか、それでは続きをお願いいたします。

○赤井課長

続きまして、28頁図書館事業の方に参ります。47番図書館運営、それから48番の図書館フェスティバルについてです。2つともA評価とさせていただきます。図書館の運営についてはAということで、やはり本に触れる機会これを積極的に行っております。色んな展示会ですとか、それから読み聞かせ、子ども人形劇、ハローブックなどを昔からずっと継続して地道にやっておりますし、また漫画アンケートなんか行って、小中学生やいろんな方に興味を持ってもらえるように工夫をしています。また、フェスティバルも実施をしまして、今年も交流フェスタの時に合わせてミニミニフェスタを行っております。特に子供人形劇にはたくさんの親子が来ていただいていたので、今後も継続して実施してまいりたいと、なお古本市については別日に設定して現在はやっております。今年もゆめっくるのハントホールにて別日で設定して現在実施しています。図書館については以上です。続きましてプールです。49番のB&G海洋センター、そして50番目の水泳教室です。B&Gプール海洋センターについては昨年度はCという評価をさせていただきました。理由としてはオープンの期間中にポンプの設備が故障いたしまして、昨年は途中で閉館いたしております。利用者もだいぶ減ったんですけれどもその際、継続して水泳をやっていたらこうということで、北竜町のB&Gの方に送迎を行って、希望者に対しては送迎を行っております。今後も設備更新等をですね、しっかり考えながら色んな方に活用してもらえるように管理していきたいと考えています。水泳教室もずっと続けておまして、4歳児から小学校6年生まで、初めに顔をつけて水慣れ教室から泳げるまでですねしっかりとサポートしております。委託している部分と直営とやっている部分に分かれています。評価についてはAです。続きまして30頁、51番スキー場管理運営です。ここだけスキー場の関係になりますが、昨年度、令和4年度についてはリフトとロッジの

更新を行いまして、リニューアルオープンしたところです。その結果評価はAということで、リフトの輸送人員が前年を3万9千人程上回る10万人を超えた輸送人員、そしてワイファイ環境なども整えたり、圧雪車の整備をしたり、整備の充実を図ったところです。今後も親子で利用しやすいスキー場として強力でPRしていきたいと考えています。52、53、54までは化石関係でございます。52の化石研究についてはBということで、中々新たな研究、化石を見つける調査が定期的に行われておりませんが、すでに見つかっている化石のクリーニングなども進めながら今後やっていきたいと考えています。評価についてはBです。それから53番の体験館の管理ですけれども、Aという評価ですけれども、コロナ感染症があった時期は制限もかけていたところですが、何とか昨年からは人が戻ってきてもらえるように、ミニ発掘体験をしっかりと持ち帰りで作ったりですね、展示方法を変えたりして入館者数を何とか戻しております。それから54番のレプリカ工房ですけれども、令和3年、4年とヌマタネズミイルカ1体目2体目の作製に着手しています。なお、2体目のレプリカ作製については令和5年中の完成ということで、もうすでに完成いたしております、初披露いたしております。しっかりと沼田町レプリカの化石クリーニングこの技術をしっかりと発揮できたと思っております、評価についてはAということでつけさせていただいています。1回ここで、47番からの図書館、プール、そして化石、スキー場について説明いたしました。

○教育長

図書館からレプリカまで、ご意見等ございますか。

○赤井課長

意見書についても化石について1件、高穂スキー場について1件の意見をいただいています。

○教育長

よろしいでしょうか、それでは続けてお願いします。

○赤井課長

それでは32頁、33頁最後の見開きの頁になります。主に施設関係でございますけれども、施設管理関係です。55番の宿泊交流センター夢未来の管理運営についてはB評価ということにしていますが、令和4年度はある程度制限をしていたこともありますが、何とか運営いたしまして、利用していただいています。特にスポーツ関係の合宿ですとか、色んな文化活動の方に利用いただいています。経年劣化もしておりますので今後施設の維持に万全を期していきたいと考えます。評価についてはB、町民球場についても建設課と

連携しながら、芝の状態も多少指摘がございますけれども一応B評価ということで、評価させていただいています。中々野球の大会も減少しているところではございます。57番の社会体育施設の管理運営でございます。社会体育施設、主に町民体育館が中心になってくるかと思えます。Bという評価ですが、町民体育館につきましては夜間の定期利用団体が主に利用されています。また、各種スポーツ大会なんかもやりまして、令和4年度は利用人数も維持しています、6,570人。ただし、今後の課題ということで記載していますが、町民体育館老朽化が進んでおりまして、やはり計画的な修繕、そして新たな施設の建設等についても検討準備を始めたいと、必要であるという風に考えています。最後58番、町民会館の管理運営です。Bという評価ですが、町民会館も利用人数もですね戻ってきておりますが、管理については社会福祉協議会に委託して現在適切に管理しています。町民会館も老朽化が目立つんですけども、特に設備修繕、ボイラーなども経年劣化、耐用年数もきておりまして、非常に今後修繕なんかもかかってくるだろうと予想されます。今後この町民会館の運営をどうするのか大きく見直す時期に来ているという風に考えておりまして、今後検討を重ねていきたいと考えています。以上施設関係を説明してまいりました、ご意見のほどよろしくお願いたします。

○教育長

では、施設関係、全体通してでも構いませんが。令和4年度から嶋産業に体育館の管理委託を行っています。

○赤井課長

意見書でも新しい体育館について、早急に検討いただきたいということと、土間の体育館もいまだに要望があるように聞いています。ただ、私が聞いている中では秩父別、妹背牛も土間の体育館を持っていますが、最近は野球やる子も少なくなって、使わないことが多いという風には聞いています。

○教育長

近くの町でそれぞれが必要なのかというと、難しい問題なのかなという気がしますね。

○青木代理

箱物の施設に関しては我々が小さいときからずーっとあるものだから、やっぱり修繕箇所がどんどん増えると思いますし、今教育長言われたような各町村でも余し気味になってきているっていう部分があると、ある程度わが町で考えることも必然だろうし、他町と考えることも必要なんだろうなと、今のところ突然無くなっても困るだろうなというところですよ。

○教育長

全体通して聞きたいことですか、よろしいですか。

○赤井課長

並行して紹介させていただきましたけれども、27日に行われた意見聴取については先ほど説明したように、まず学識経験者の岡本園長、それから鶴野翔太PTA連合会会長、地域代表として吉田春美様に意見をいただきました。聴取した意見についてはICTの教育支援員の配置、そして配置だけではなくて教職員と学習支援員、全員に対してですね研修の充実を図った方がより効果を生むのではないかと、先生は分かったけれども学習支援員は理解していないんじゃないかという方もいたりですね、その辺はしっかりとフォローするべきではないかと、あと専門的な人材ですね、確保を望みますという意見もありました。検定は先ほど言ったように講習をやったらどうかと、それからカウンセリング関係については道のカウンセラー、アドバイザーだけではなくて地域の色んな人に関わってもらえることがいいんじゃないかと、いった意見です。裏面の方も紹介いたしますと、Nリンクの方でやっていただいているコーディネーショントレーニング、それから普段の子ども達の遊びですね、お昼休みですか中休みとかそれから放課後とか、子ども達がどういう遊び、そしてこのトレーニングがどんな効果を生んでいるのか、それも分析していかなければいけないんじゃないかと意見を頂いています。否定しているものではありません、子ども達がどういう体力、どうして低下していつているのかというところを考える必要があるんじゃないかという分析です。自然体験キャンプは全員が参加できる取組をしてくださいと、それから社会教育事業はもうちょっとニーズを把握してですね、本当に子供たちが興味を持った事業なのか、それから早い段階から開催周知をしてほしいという意見でした。化石体験館は発掘キットを配布しているんですけども、やっぱり学芸員がそばにいて一緒に化石がこういう風に掘って、何が出てきてこれは何なんだよと、そういう説明までしないと子供たちはただ持ち帰ってきて庭でコンコンコンコンやって終わってるので、その辺がまたできるといいねという話をしています。スキー場は今後もPRを積極的にと、また体育館については今ほど申し上げましたが、子ども議会でも出てましたし早急に検討、それからバスケットコートが、これダウンサイジングなのか、一般的なサイズなのか別として、何とか新しい検討をしてほしいと、土間の体育館も併設できればなど、これは野球だけじゃなくて、おっしゃってたのは冬場のコミュニティ、冬でも土間で焼き肉やったり、そういうコミュニティもできるんじゃないかという意味も込めていました。以上でございます。

○教育長

学識経験者の意見につきましては、点検、評価報告書と合わせまして議会の方に提出

させていただきたいと思います。そうしましたらこの件につきまして議案第36号令和5年、令和4年度対象の度沼田町教育委員会の活動状況に関する点検、評価報告書については、提案のとおり議会に提出することでご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○教育長

異議なしと認め、議案第36号は提案のとおり議会へ提出することに決定いたしました。

次に議案第37号、令和6年度沼田町奨学生の募集についてを議題といたします。説明をお願いいたします。

○赤井課長

議案第37号、令和6年度沼田町奨学生の募集について。沼田町奨学資金貸付基金条例施行規則第3条の規定により、令和6年度沼田町奨学生の募集を下記のとおり決定する。令和5年11月29日提出教育長名でございます。記といたしまして、募集人員については、高等学校2名、大学等4名でございます。願書の提出月日については令和6年3月29日まで、対象者については沼田町の住民であること、でございます。

以上ご提案申し上げます。ご審議のほどお願いいたします。

○教育長

説明が終わりました。ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

○青木代理

最近の希望者は定員一杯にいる状況ですか。

○教育長

最近は定員一杯にはなっていません。

それではよろしいですか。議案第37号、令和6年度沼田町奨学生の募集については提案のとおり決定することでご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○教育長

異議なしと認め、議案第37号は提案のとおり決定いたしました。

ここでお諮りをいたします。沼田町教育委員会会議規則第5条の規定により、議案第38号、令和5年教育行政報告について及び、議案第39号、令和5年度沼田町一般会計教育費補正予算案についてまでを、秘密会にしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○教育長

異議なしと認め議案第38号、令和5年教育行政報告について及び、議案第39号、令和5年度沼田町一般会計教育費補正予算案についてまで秘密会とすることに決定いたしました。これより秘密会といたします。

議案第38号	令和5年教育行政報告について	原案可決
議案第39号	令和5年度沼田町一般会計教育費補正予算(案)について	原案可決

○教育長

ここで秘密会を解きます。

以上をもちまして、本定例会に付議された案件は終了いたしました。これにて令和5年第6回沼田町教育委員会定例会を終了いたします。お疲れ様でした。